

認知症作業療法 活動報告（概要）

静岡県作業療法士会では、地域推進部に認知症作業療法WGをつくり、研修会の開催により県士会員の資質の向上を図るとともに、認知症家族会とも繋がりを持ち認知症の啓発活動に力を入れている。

また、行政の予防事業にも講師派遣を行うことで、行政との関係づくりをしている。諸活動を通して「作業療法士は認知症の人への支援が出来る」ということを多くの人々に知っていただきたいと思っている。

更に、「リハビリテーション専門職の活用について」という要望書の中に、認知症運転者による交通事故防止に対する作業療法士の積極的関与と認知症対策関連事業への作業療法士の活用促進という項目を県に挙げ、作業療法士の活用をお願いした。

認知症初期集中支援チームQ&A集の配布

認知症初期集中支援チームQ&A集を作成し、静岡県の全23市7町に持参し、各市町村の現状を聴き、作業療法士の活用をお願いした。

「専門職の出前講座」事業等

市からの依頼により、今年度より本格的に作業療法士も実施。「脳を使って鍛えて若返り～認知症の予防～」をタイトルに市民を対象に実施。多くの依頼があり、認知症への関心度の高さが伺われる。更に家族介護教室や健康教室からの依頼にも対応。

キャラバンメイト養成にも関わっている。これらの活動により、認知症になっても住みやすい街づくりを目指している。

認知症家族会との関わり

認知症家族会「七色の会」の月1回の会合に参加し、関わりを持つと同時にアドバイザー的な立場で作業療法士という職種の理解を促す。

また、RNU伴にも参加し、認知症啓発活動を行い、会長をはじめ16名の県士会員でたすきを繋いだ。

認知症研修事業

平成29年度は、各地区で計3回実施。115名が研修終了。また、ステップアップ研修も来島修志先生をお招きして、認知症の人と家族における生活支援の重要性を理解するとともにリハビリテーション専門職の立場から具体的支援方法を理解し、知識並びに技術の向上を図った。参加者40名のアンケートによるステップアップ研修の満足度は満足29名、ほぼ満足10名、普通1名であった。

今後の展開

平成30年度 研修会予定

アップデート研修：各地区で計3回実施。

ステップアップ研修：佐藤良枝先生・若年性認知症の理解、認知症のある方への対応、食べる事への対応
認知症予防事業への講師派遣・認知症家族会への参加・健康教室や家族介護教室での講師